



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2013年3月号

「主題」

- 国際会長 : 世を照らす光になろう
 アジア地域会長 : 歳月はY'sをワイズ(賢者)にする
 西日本区理事 : 先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で
 中部部長 : 前へ! 声を掛け合い
 プラザクラブ会長 : 明日に希望を クラブに活力を
 強調月間・ポイント:【EF・JWF・お祝いや記念日には幸せのお裾分け、感謝の気持ちとともに献金しませんか。エンダメント基金(EF)は国際協会へ、西日本ワイズ基金(JWF)は西日本区へワイズダム発展のためにご協力お願いします。】

3月例会および今後の予定案内

【3月第1例会】

日時: 3月14日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 卓話:「アラブの春?」・講師: 榎田守隆

【3月第2例会】

日時: 3月28日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 次月例会の打ち合わせ

出席義務者: 役員(高田・榎田・常盤)
 4月担当者(島崎・後藤)
 5月担当者(高田・大島)

【今後の予定】

1. チャリティー・ウォーク・平和公園1万歩コース
 日時: 3月9日(土) 集合時間・10:00
 集合場所: 地下鉄東山公園駅2番出口付近
 費用: 1000円/人
3. 中部評議会・YYフォーラム
 日時: 3月20日(水・祝日)・12:30-
 場所: 名古屋YMCA 3F会議室
 ◆当日、「ケニア・タンザニアでのボランティア活動(仮称)」と題し“ステップ”による報告会を開催しますので、評議会役員以外の方の参加もお願いします。
2. 4月第1例会
 日時: 4月11日(木)・18:30-
 場所: ケンポー
 内容: 反省会

2月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者			
		1	2	①②③④⑤⑥⑦	
直前会長	大島 孝三郎	○	○	○○	
副会長	小澤 幸男	○			
書記	榎田 守隆	○	○		
	後藤 猛	○	○		
	島崎 正剛	○		○	
	鈴木 誉三	○		○○	
会長	高田 廣	○	○	○○○	
会計	常盤 真理子	○	○		
連絡主事	万福寺 昭美	○	○	○○	
ゲスト	渡辺 観永	○			
課外活動	①西日本区大会実行委員会 2/4				
	②西日本区大会実行委員会 2/7				
	③成瀬西日本区理事 前夜式 2/27				
	④成瀬西日本区理事 葬送式 2/28				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
出席率(%)			100.0		
クラブファンド(円)・当月/累計			20420	38120	
4月号寄稿者・鈴木(400字詰め原稿用紙4-5程度)					
5月号・島崎/6月号・高田/7月号・大島					

【2012-13年度クラブ役員】大島孝三郎・メール委員/小澤幸男・Yサユース/榎田守隆・広報事業・プリテン担当・HP委員/後藤猛・副会計/島崎正剛・EMC・交流/鈴木誉三・会計監査・地域奉仕・環境/高田廣・ファンド

エンダウメントファンド(Endowment Fund)=信託基金 ワイズダム(Y'sdom)=ワイズの世界、ワイズ運動の状況といった意味

2月第1例会報告

日時:2月14日(木)・18:45-21:30

場所:名古屋 YMCA 会議室

1. 卓話:「仏教について」

講師:想念寺ご住職 渡辺観永氏



チベット仏教の概念では、輪廻転生(りんねてんしょう)とは、生まれ変わるときは必ず忘却の川を渡り、一切の記憶、知識をリセットする。そして新しい人生をスタートするが、生き物としてのベクトルは変わらない。それをある者は運命とか宿命と呼ぶ。しかし、仏教とは、運命、宿命を打ち砕くもので、それを解脱(げだつ)という。解脱をブツダ(Buddha)、目覚めた者、の意味で中国人は「人が沸き上がる=佛陀」と漢字で表現した。

百済の使者が538年、経典や仏具を朝廷に献上したのが、仏教伝来の始まりといわれている。その後、日本に持ち込まれた経典は、新旧ごっちゃでどれが最新の教えか分からない。まるでSL機関車と新幹線が、一緒のレールを走っている状態。実は、中国は朝廷が変わると、音楽も文字もすべて変わる歴史のため、一つの時代が終わると、その時代に共通する表現が消滅して、新しい王朝にふさわしいものを育成し、新しく解釈されて採用する。因みに、日本はそれぞれの時代に入ってきた経典が全部残っている。したがって、思想的に奈良から平安時代にかけて日本の仏教は、何が最新の教義なのか分からず大混乱に陥った。

平安時代になると、これはおかしいのでは、ということでも沢山のお坊さんが、遣唐使として中国に渡る。延暦23年(804)、傑出した二人の人物、最澄と空海がともに渡航した。貴族出身のエリート最澄は安全な第1船で上海(明州・寧波(ねいは)?)に、讃岐国生まれの留学僧空海は、その他大勢と第6船(第4船?)に乗り福州に上陸した。最澄は近場の天台山にある、現代でいう「佛教大学」に入り、日本に持ち帰る仏典を片っ端から書写する。一方、空海は当時大都会だった長安に向かい、紹介された青龍寺を訪れた。青龍寺はチベット密教をダイレクトに伝えていたお寺で、三代目(恵

果・けいか)の住職は空海の才能を見抜き「すべてを譲る」といい、彼に対して譲るための作業をすぐ始める。後に空海は、密教の全てを携えて日本に帰る。なお、恵果から真言密教の第八祖を受け継いだため、正統な真言密教は開祖のインドから中国を経て日本に持ちこまれた、言い換えれば「正当な真言密教」は日本にある、ことになる。帰国後、空海は弘化7年(816)真言宗総本山高野山金剛峯寺を開創する。

比叡山延暦寺は延暦7年(788)に最澄が一乗止観院という草庵を建てたのが始まりで、帰国後種々雑多な思想、理念を教える総合大学のような役割を果たすが、国家公認の僧となるための儀式を行う戒壇(かいだん)の設立の勅命が下りたのは、死後7日目だった。

お話は続く。奈良仏教の修験僧「徳一」と空海、最澄との論争や延暦寺で修業した祖師の話題、最後はモデル3人の法衣ファッションショーなど、飽きさせない内容豊富な卓話でした。



(高田会長、まじめに法衣の着付けモデルを務める)



(三蔵法師が!?・左から島崎、渡辺、大島、高田各氏)

2. 連絡事項・高田

(1) お年玉切手シート収集

50円切手×64枚=3,200円

80円切手×14枚=1,120円

合計 4,320円

鈴木さんお買い上げ、ニコボックスに収める。

(2) 西日本区大会実行委員会

3月1日、YMCA3F 会議室で午後7時より開催

大島・島崎・鈴木・高田さんの4人出席

(3) 中部評議会

日時、場所などは1面参照のこと。当日はYYフォーラムをステップ(STEP)によりケニア、タンザニアでボランティア活動を実践した、四日市クラブ大西さんのご息子が報告いたします。先月公式訪問された荒川中部部長も感心したほどのスピーチぶりだったそうです。評議会委員以外の方の参加をお待ちしております。

(4) 3月第1例会の内容

卓話・内容未定 講師・榎田

3. 2月課外活動実践または予定者・榎田

(1面参照)

4. チャリティー・ウォーク・万福寺

(1面参照)

2月第2例会報告

日時: 2月28日(木)・18:45-19:45

場所: 名古屋 YMCA 会議室

西日本区理事成瀬晶晃三氏(名古屋ワイズメンズクラブ所属)が、大動脈流解離のため2月25日、天に召されました。2月27前夜式、28日葬送式が日本基督教団名古屋中央教会で行われ、クラブから高田、大島、島崎、鈴木、万福寺さんらが出席されました。

安らかな眠りをお祈りいたします。クラブ員一同。

1. 連絡事項・高田

(1) 3月第1例会内容

a. 2月未実施のTOFを行う。

b. 卓話・榎田さん

(2) 西日本区大会実行委員会開催(略)

(3) チャリティー・ウォーク開催

(1面参照)

(4) 中部評議会開催

(1面参照)

評議会の構成員が話題になりましたので、念のため中部部則を転記します。第9条 第2項・評議会は部長、直前部長、次期部長、部書記、部会計、各事業主査、ホームページ委員、監事、直前監事、各クラブ会長により構成される。ただしこれらの役職は重複を妨げず、また各クラブ会長は代理をもってこれに代わることができる。

(5) EMC を考える会開催

日時: 4月14日(日)・13:00-16:30

場所: 名古屋 YMCA 3F 会議室

日本仏教の主な宗派

浄土宗・法然上人を宗祖とする。法然は日本仏教を「他力宗」と「自力宗」に二分する思想源流を構築した。

法然は1138年に生まれ、13歳の時比叡山で学び、43歳で山を下り、東山吉水に庵を構えて、日本浄土宗を開宗する。「南無阿弥陀仏」を唱えることにより、極楽浄土に往生できる、との教えを広めた。

臨済宗・栄西上人が日本初の禅寺を建立して開祖した。1142年に生まれ、14歳で比叡山に入るが、派閥対立に失望して下山、1168年入宋する。この頃中国では禅宗が流行しており、志半ばで帰国、再度入宋して臨済宗黄竜派の印可を受けて帰り、伝統仏教の反対に遭うが、頼家が建立した建仁寺開山で京都での足場を築く。臨済宗の教えは、衆生(しゅうじょう・生命あるものすべて)本来仏であることを信じて座禅に励み、自己に目覚め、生活を正し、生かされていることに感謝して、利他に徹することです。

浄土真宗・親鸞上人を開祖とする。「絶対他力」を掲げる日本最大の伝統仏教集団。親鸞は1173年に生まれ、9歳で出家し比叡山で念仏修行の生活を送るが、29歳の時得心がいかず、比叡山を降りて京都六角堂で百日の祈願をし、法然の弟子になる。その後、旧仏教側からの弾圧で越後に流され、4年後に許されて常陸に移住、60歳まで関東で布教に専心する。教えの中心は、念仏を説くこと自体が阿弥陀如来の本願力によるという絶対他力の念仏を説く。

曹洞宗・道元禅師によって開宗された。道元は1200年生まれ、13歳の時比叡山に入って出家したが、仏法について疑問を抱き比叡山を下り、三井寺で学び、更に建仁寺で臨済宗の禅の修行に励む。24歳の時中国に渡り、真実の師に巡り合った、と28歳で帰国する。しかし、伝統仏教からの圧迫もあり、越前に移り永平寺を建立、弟子を育成し終生この地で禅の修行に励む。曹洞宗の教えは、各自が備えている仏心に基つき、座禅の姿と心で日常生活を整え、その心を保つため、ただひたすら坐禅すること。

日蓮宗(法華宗)・日蓮上人を宗祖とする。日蓮は1222年に生まれ、16歳で出家、19歳の時鎌倉の光明寺に学び、比叡山や奈良の諸大寺、高野山で各宗の宗義を極め「法華経」こそ諸経の王、釈尊の正意にかなう經典であると確信する。後に身延山に移って草庵を建て、弟子の育成と著述の日々を送る。

時宗・一遍上人が開宗した浄土宗の一派。各地を行脚して「念仏」の札を配って歩く布教方法と、「踊り念仏」によって知られている。一遍は1239年生まれ、13歳の時に大宰府の浄土宗西山派に学ぶ。一時世俗に戻るが、再び念仏行に専心し、信濃の善光寺で二河白道図(にがびやくどうず・西方の極楽浄土に往生する信仰心を、北の貪欲の水の川、南を怒りの火の川にはさまれた細い清らかな道にたとえた図)に心打たれ、それを書き写し、地元窪寺でこの図を掲げて修業を3年間続ける。この時念仏の信仰を確立、念仏の境地を伝えるため諸国を遊行、1274年熊野権現で神託を受け、一心に念仏を広める確信が

与えられたといい、この年を時宗開宗の年とした。

聖書の言葉

【太初(はじめ)に言(ことば)あり、言は神と偕(とも)にあり、言は神なりき。この言は太初に神とともに在り、萬(よろづ)の物これに由りて成り、成りたる物に一つとして之によらで成りたるはなし。(ヨハネ福音書(大正改訳)1.1-3)】

【発行元日本聖書刊行会の新改訳新約聖書(初版1988年)は『初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。』とある。「ことば」とは「言葉」、言を「ことば」と読ませた大正改訳の聖書は何を意味するのだろうか。原文はギリシャ語の「ロゴス」、ちなみに広辞苑には『ロゴス・(本来は、人々の話す「ことば」の意)①概念・意味・理論・説明・理由・理論・思想などの意。②言語。理性。③実体化されて世界を支配する理法。④キリスト教では「神の言」、すなわち「子たる神」(三位一体の第二位)。』とある。ある教会のホームページには『この世界に来られる前のイエス・キリストを、イエス・キリストという名前を用いないで言い表すことでありました』と解説している。さらに、最初のプロテスタント宣教師ギュツラフが天保8年(1837年)に起こした「ヨハネ福音の伝」は『ハジマリニ カシコイモノゴザル、コノカシコイモノ ゴクラクトトモノゴザル、コノカシコイモノワゴクラク。ハジマリニコノカシコイモノ ゴクラクトトモノゴザル。』とあり、ロゴスを「カシコイモノ」と訳し「理性の根源であるお方」というニュアンスを表わしている。また明治5年、ヘボン・ブラウン共訳では『はじめに言霊あり、言霊は神とともにあり、言霊は神なり。この言霊ははじめに神とともにあり。』と訳し、言霊とは神と等しいものであり、神の霊をもったものである、という意味が込められていた、と説明している。】

【この頃のテレビ番組はつまらない。ある日チャンネルをアチコチ切り替えていたら、チンパンジーがパソコンを見ながら遊んでいる場面に出くわした。新聞の番組欄を見ると「生命38億年スペシャル 最新遺伝子ミステリー”人間とは何だ・・・!?”」の途中らしい。犬山にある京都大学霊長類研究所の天才チンパンジーのアユムが、パソコン画面に直面している。1から9までランダムに表示した数字を1秒ほど見せた後、その個所を影にして数字を隠す。そして影を瞬時にタッチして1、2、3と9まで順番通りだったら、ご褒美のバナナが貰える趣向である。数字を並び変えても結果は同じである。司会のアナウンサーはトツトツとやりながら4回失敗する有様、彼を同情するほどアユムは

見事であった。解説者は自然界で生きていくためには、敵味方の識別、果実など食べ物を瞬時に見付けるなどの瞬間記憶能力が備わっている、という。人間とチンパンジーのDNAは98.8%同じだが、人間は脳、言葉など、ある部分のDNAだけが急速に変化した。最近、言葉をしゃべるための「遺伝子スイッチ」に人間とチンパンジーの大きな違いが見つかった。人間は言葉での情報伝達、たとえば敵や果実を見つければ言葉でみんなに知らせることができる。『FOXP2 遺伝子は、人間の言語コミュニケーションをつかさどり、一連の会話を可能にする働きを持つ重要なスイッチ、これは人とチンパンジーとの共通先祖が枝分かれした後、人間特有に進化したものです』と外国の女性科学者が説明し、画面は次の話題人間発祥の地エチオピアに移った。先の「初めに言葉あり」は科学的にも証明されたのでは・・・。】

Zoom・もうすぐ春ですね



(2月24日撮影・右側は山茶花、白い花が咲いている)

わが家の狭い庭に梅の木が3本ある。1本は初の孫娘が生まれた2001年に紅梅を、その5年後に生まれた2人目の女の子のときは、どうしてか紅白2本の梅を植えた。10日ほど前、天辺の枝に紅梅が一輪咲いてから、寒い日が続いたにもかかわらずふたつ、みつと蕾が開いた。例年、満開になるころ、目白が蜜を吸いに寄って来る。取り合わせによい二つのものたえに「梅に鶯」というが、わが家では鶯が梅の木に止まったり、「ホーホケキョ」と鳴いたりしたところを、見たり聞いたりしたことがない。代わりに、嫌われ者の椋鳥(ムクドリ)が来る。物の本によると、餌は目白と一緒に花の蜜を吸うらしい。梅の木の隣に山茶花があり、ほぼ同時に満開になる。椋鳥は梅より山茶花が好きなようで、つがいだろうかいつも2羽一緒に花をついばんでいる姿は、蜜を吸っている様子とは思えない。2羽が去った後、山茶花の木の下は、薄らと雪が積もったように花びらが散っている、文字通り「落花狼藉」ぶりである。今年は鶯が梅の木に止まり、ひと声「ホー、ホケキョ」と鳴いてほしいね。